

平成26年第3回（6月）瀬戸内市議会定例会

行政報告

本日は、平成26年第3回（6月）瀬戸内市議会定例会を招集しましたところ、ご多用の中ご出席をいただき、誠にありがとうございます。

平成26年度はご存じの通り市制施行10年の年であり、これを機会に地域資源を生かし、シティプロモーションにつなげていくためのさまざまな取り組みを検討しています。瀬戸内市には、災害の少なさに加え、治安の良さ、交通のアクセスの良さ、ほどよい田舎暮らし、竹久夢二、長船の名刀、朝鮮通信使の歴史、牛窓や備前福岡の町並み等があるとともに、今後錦海塩田跡地の活用による自然エネルギーによるまちづくり、知の創造空間としての図書館整備、地域包括ケアの拠点となる市民病院の整備等、将来に向けて新たな魅力となるものもあります。これらの魅力をさらに磨き、この瀬戸内市を愛し誇りに思ってください市民を増やしたいと考えます。また、人口減少社会に応じた地方行政体制の整備が急務となっており、基礎自治体としての方針をしっかりと立て、より一層の選択と集中を図り、限られた財源で将来に負担を押しつけないよう、改革の取り組みを進める必要があります。議会の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

以上申し上げ、早速ですが行政報告に移らせていただきます。

錦海プロジェクト推進課関係

○ 錦海塩田跡地活用事業の進捗状況について

先の特別委員会及び全員協議会でご報告したように、市と事業者との施行協定、土地賃貸借契約を3月31日に締結し、4月1日から塩田跡地の貸付を行っています。

今後は、事業者と締結した協定、契約に基づき、事業が着実かつ安全に進展するよう、事業者に助言や指示を行い、円滑な事業実施を図ります。

市民生活部関係

○ 家庭ごみの収集及び処理について

4月から家庭ごみの分別品目を統一するとともに、品目によりクリーンセンターかもめと長船クリーンセンターで分担して処理しています。当初は現場等で多少の混乱はありましたが、現在はスムーズな処理が行われています。

4月の「燃やすごみ」の収集量については、市民の皆様や環境衛生委員の皆様等のご協力により、昨年同期に比べて約89.8トンの減となり、月末時点のごみの減量率は、14.5%となりました。なお、旧町別の減量率につきましては、牛窓地域13.5%（家庭系のみ13.4%）、邑久地域16.3%（家庭系のみ17.7%）、長船地域11.3%（家庭系のみ16.7%）と減量が進んでいる状況となっています。

このように大きな減量につながったのは、「その他プラスチック・ペットボトル」の回収量が多かったことによるもので、「その他プラスチック」が約10.2トン、「ペットボトル」が約3.0トンと予想以上の成果が出ており、市民の関心の高さを表しています。

今後もさらなるごみの減量化に向けて、積極的に各地区へ出前講座に出向いて行くなど、より一層の広報・啓発活動を展開していきたいと考えています。

保健福祉部関係

○ 自殺予防の取り組みについて

ストレスの多い社会や経済状況の悪化により、自殺や精神的な疾病で悩む市民が増加しています。

昨年度から、市民の方にゲートキーパーとなっていただくための研修会を開催してきました。このゲートキーパーとは、自殺の危険を示すサインに気づき、必要な支援につなぎ、見守るなどの支援を行う人のことで、近年広く使用されている用語です。研修を実施した結果、多くの参加者から、「必要な方に声を掛けたい、話をよく聞いてあげたい、相談に乗りたい」という意見を聞くことができました。

平成26年度はさらに、市民への窓口業務や相談対応業務に従事する市の職員や地域で相談を受ける福祉関係委員の方々にも研修を行います。

研修の内容は、精神疾患や引きこもりに関する知識、福祉制度の正しい理解、また、心配な方への接し方等を予定しています。この研修により、多方面からの見守りを行い、早期に適切な相談体制につなぐ仕組みを作っていきます。

○ 上寺山楽々園の移転について

市から社会福祉法人センチュリー岡山に経営移譲した、養護老人ホーム「上寺山楽々園」の建て替え整備は3月に完成し、4月20日に竣工式を行い、5月1日に上寺から北池の新施設へ移転を終えました。入所者34人

の方々も徐々に慣れてきて、無事に生活を送っています。

介護サービスを充実した楽々園には、今後高齢者福祉の地域拠点として重要な役割を担っていただくことを期待しています。

また、北島の跡地利用については、今後売却も含め検討したいと考えています。

○ 臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金について

臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金については、6月に住民税が確定された後、申請書の発送準備作業を行い、7月下旬に支給該当予定者の方に発送する予定です。

申請書の受付期間は、8月から6カ月間を予定しています。また、受付は郵送等により行い、支給については書類の審査を行った後随時行うこととしています。

現在、関係機関と調整を行うなど、準備作業を行っています。

○ 権利擁護センターの開設について

瀬戸内市権利擁護センターについては、4月1日より瀬戸内市社会福祉協議会へ委託し、業務を開始しました。現在、関係機関への周知に努めており、相談への対応を始めているところです。

7月6日には、瀬戸内市権利擁護センター開設記念講演会及びシンポジウムを開催し、権利擁護センターの役割を広く市民の方に知っていただくこととしています。

今後もこのような啓発活動を続けることで、市民の方から気軽に相談を受けることができるセンターとなるよう努めます。そして、市民の権利が守られ、安心して生活できる地域づくりを推進していきます。

産業建設部関係

○ 社会資本整備総合交付金による事業について

本市が申請していた、狭あい道路整備等促進事業による市道の整備と市有建物耐震診断等の事業が、国の補助事業である社会資本整備総合交付金に採択され、4月に内示されました。

狭あい道路整備等促進事業は、幅員4メートル未満の道路を拡幅するもので、平成26年度当初要望により6路線を5カ年計画で申請していたところ、4路線について内示がありました。全体の整備延長1,455メートル、幅員5メートルで整備します。

また、市有建物耐震診断等では、岡山いこいの村の耐震診断が内示を受け、耐震診断業務を進めていきたいと考えています。

このため、関係予算を補正予算に計上していますので、よろしくお願ひします。

○ 観光関係について

現在大河ドラマで放映されている「軍師 官兵衛」のゆかりの地である長船町福岡地区については、赤穂線ラッピング列車出発式、博多どんたく港祭り、JRと共同によるカンコースタジアムでのPR等、いろいろな催しに参加し、観光客の誘致や知名度の向上に努めてきました。

これらの活動から、福岡市にある老舗ホテルグループにおいて2カ月間の岡山フェアやディナーショーを開催していただき、瀬戸内市産を含めた岡山県の農林水産品の活用とともに、さらなる瀬戸内市のPRをすることができました。

また、今年5月10日、11日に滋賀県長浜市で開催された「黒田サミット」に参加し、関係自治体である姫路市、福岡市、中津市等との連携を深

めてきました。併せて、長船町福岡地区にあり、地元の連合町内会、史跡保存会など官民が協力し改装された築約100年の古民家である「仲崎邸」もPRしてきました。

さらに、この6月に100回目の開催を迎える「福岡の市」や備前長船刀剣博物館などの来場者も増加していることから、地元観光ボランティアや観光協会と連携して、この効果をさらに瀬戸内市全域に広げ、瀬戸内市の魅力ある観光地づくりを推進していきます。

上下水道部関係

○ 下水道事業企業会計移行について

現在、地方公営企業法財務適用の平成28年4月1日の移行に向け、固定資産の調査・評価及び管理システム構築・導入を実施しています。本年度、企業会計の財務システム構築・導入を実施し、平成27年度、この財務システムを仮運用することでよりスムーズな移行を目指します。

病院事業部関係

○ 新病院建設について

新病院の建設については、現在造成工事を進めており、8月末の完了予定となっています。また、建築工事については、入札の実施に向けて準備を進めています。近隣の住民の方々にはご迷惑をおかけすることになりますが、ご理解をいただきながら事故のないよう進めていきます。

○ 病院経営について

本年4月から新病院事業管理者、新院長を迎え、「地域医療の充実」「救急医療の拡大」「地域包括ケアの推進」を柱として新病院の機能充実のため、関係機関と連携を図っていきます。

また、多くの市民に利用していただき、地域の方々に喜んで選んでいただける病院とするため、運営提言委員会を6月に開催する予定としており、市民病院に求められる医療サービスの提供体制作りを努めていきます。

また、医師、看護師の確保はもちろんのこと、近隣の医療機関とのさらなる連携を図りながら、働きやすく働きがいのある職場作りを職員一丸となって進め、健全経営に努めていきます。

消防本部関係

○ 住宅防火対策について

消防白書によると、平成24年中の全国の放火自殺者を除く住宅火災による死者数は1,016人であり、平成17年の1,220人をピークに減少しているものの、依然1,000人を超えている状況が10年以上続いています。また、住宅火災による死者の6割以上が65歳以上の高齢者となっています。

本市においても昨年1年間で、放火自殺者を除き、65歳以上の5人の方が亡くなられています。このため、市としても、高齢者宅を中心とした住宅防火診断を引き続き強化し、女性消防団員の協力も得て、今年度800世帯を訪問する予定としています。また、一般世帯の住宅用火災警報器の未設置宅や不在者宅の再訪問についても継続し、住宅防火対策の推進を図っていきます。

○ 消防施設の整備について

前年度に土地購入と実施設計を終えた邑久西分団の機庫については、建設に向けて準備をしています。機庫の構造は、鉄骨ALC2階建、建築面積53.18平方メートル、延べ面積96.05平方メートルであり、1階を車庫、2階を団員の待機室としています。資機材の備蓄と同時に多くの団員が待機することができ、災害時の拠点としての機能も果たします。

次に、はしご車のオーバーホールですが、納入後7年を経過し、点検期間は、おおむね3カ月を要します。また、はしご車不在期間中の災害対応は、消防相互応援協定により、岡山市消防局並びに東備消防組合にお願いすることとしています。

さて、今議会で提案申し上げます案件は、条例7件、補正予算2件、その他10件、計19件です。

よろしくご審議をいただき、適切なご決定をいただきますようお願い申し上げます。市長部局の報告を終わらせていただきます。

平成26年6月2日

瀬戸内市長 武久 顕也